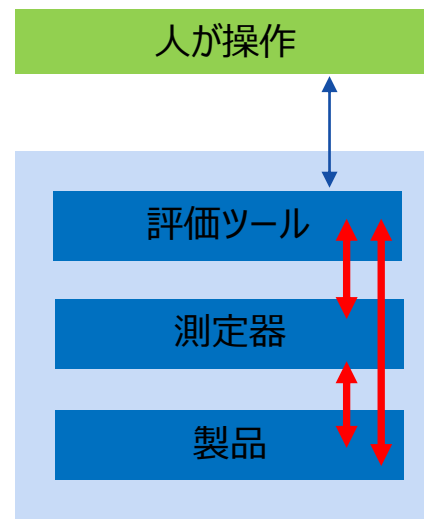


「評価ツールにプラスして自動化支援を行います（測定等の効率化支援）」

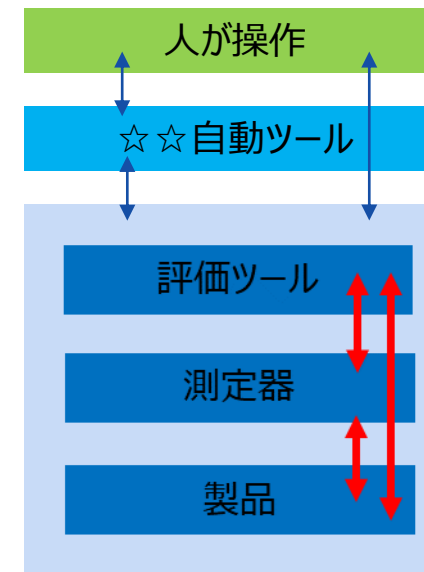


従来例

評価ツールは顧客様使用のPCアプリです。



従来環境



自動化で効率を向上させ
ヒューマンエラーを減らす。

従来環境 + 自動ツール

従来環境をそのまま、使用できます。
自動ツールは 評価ツールにのみ コマンドやり取りを行います。

半導体試作サンプル等のマニュアル測定時に製品毎の、自動化（半自動化）をお手伝いします

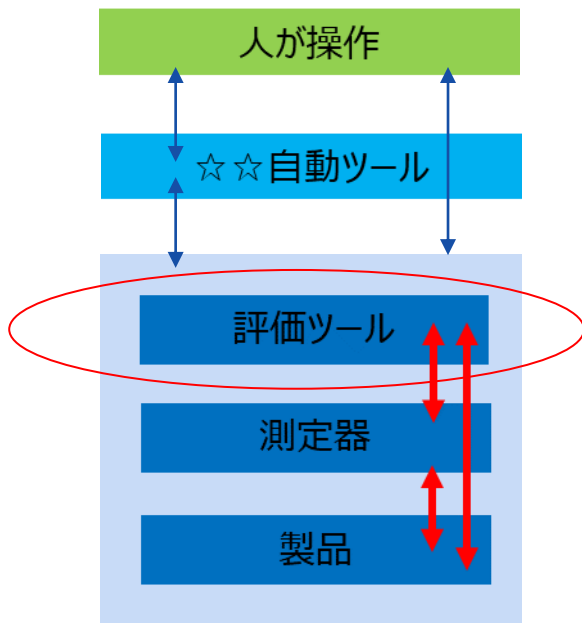
☆装置設定 ☆データ収集&(グラフ化) ☆(ドキュメント作成) ☆その他 顧客要望

評価ツールはwindows上のPCアプリです。 対応可否の事前検討は必要となります。

実績 半導体評価機で2倍以上のスピードで検査済。正確性も確認済。

応用範囲 繰り返し動作させる環境。人が目視する環境。操作が多くかかる環境 特定の分野には限りません。

自動化できる評価ツールの条件



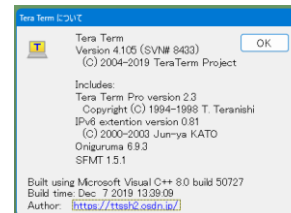
評価ツールは顧客アプリのことです。

自動ツールは評価ツールを、補助します。自動ツールが止まっているときには 人が通常操作できます。

評価ツール画面の状態を判断して、自動ツールは決まった順番で動作します。

自動化できる評価ツールの条件	自動化
Windows PCの動作すること。(Win10,win11の64bit版。 なおWin8以前のOSは確認要)	OK
顧客ツールはなんらかの状態表示があれば好ましい。あるいは自動ツール側で動作状態を判断します。	OK
microsoftのアプリSpy++でハンドル値が追跡できるもの。(これは弊社で判断します。)	OK
顧客アプリのテキスト, csv, excelファイルを 自動化ツール側で読み込み処理	OK
顧客アプリが測定器をコントロールしているもの。あるいは測定器なしで直接、製品を操作するもの	OK
測定器は手動操作のもの。	OK

ハンドル値の例



```

00190BC2 'Tera Term について' #32770 (ダイアログ)
001309E6 'Static'
005C0572 'Tera Term' Static
00490584 'Version 4.105 (SVN# 8433)' Static
000709FA '(C) 2004-2019 TeraTerm Project' Static
002A0482 'Includes:' Static
00120930 'Tera Term Pro version 2.3' Static
00070BE0 'Copyright (C) 1994-1998 T. Teranishi' Static
000B0D2E 'IPv6 extension version 0.81' Static
0006087C '(C) 2000-2003 Jun-ya KATO' Static
00080A14 'Oniguruma 6.9.3' Static
00080A22 'Built using Microsoft Visual C++ 8.0 build 50727' Static
000809EA 'Build time: Dec 7 2019 13:39:09' Static
000F05FC 'Author:' Static
00180B28 'https://tssh2.osdn.jp/' Static
000C0920 'OK' Button
00120148 'SFMT 1.5.1' Static
000B0956 'COM5 - Tera Term VT' VTWin32
    
```

Spy++はvisual studioのデバッグツールです。